

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

単一術者による腹腔鏡下副腎摘除術の臨床的検討

[研究責任者]

所属：泌尿器科 職名：医長 氏名：市川孝治

[研究の背景]

腹腔鏡下副腎摘除術については、すでに多くの施設で導入されているが、もともと疾患数が少ないため、単一術者が経験できる手術数は限られる。このため、単一術者でのまとまった報告は少ない。単一術者による腹腔鏡下副腎摘除術について、後ろ向き研究で情報を収集する。

[研究の目的]

単一術者によって行われた体腔鏡下副腎摘除術について臨床的検討を行う。具体的には、アプローチ法に関わらず副腎腫瘍は安全に体腔鏡にて治療できること、learning curve、を示し、副腎腫瘍に対する腹腔鏡手術の安全性および有用性を示す。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1999年1月から2020年12月までの副腎または後腹膜腫瘍で、市川孝治によって腹腔鏡下手術を受けた症例

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から2024年3月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報

年齢、性別、診断名、周術期の情報：手術時間、出血量、歩行開始日、経口摂取開始日、術後退院日、鎮痛剤使用、病理結果、血液検査

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、下記の施設で実施されます。

- 広島市民病院 泌尿器科主任部長 江原 伸
- 十全総合病院 泌尿器科部長 渡邊雄一
- 倉敷成人病センター泌尿器科主任部長 山本康雄
- 鳥取市立病院 診療部部長 倉繁拓志
- 岡山医療センター 泌尿器科 医長 市川 孝治

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

■ 研究代表医師

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

泌尿器科 医長 市川孝治

〒701-1192

岡山県岡山市北区田益 1711-1

電話番号 086-294-9911

FAX 086-294-9255